

FINAL GIRL



R18
ADULT ONLY

Huutendo

by Heusken



最愛の小河原両兵の死。その事実
は赤緒を悲しみの底へと沈めた。
アンヘルは敗北し、守ると誓った
弟の柊蒼旗も去った。
シバは赤緒に更なる絶望を与える
ためにその身体を拘束した。
愛し憎み、シバの歪んだ感情が赤緒
に迫ろうとしていた。



ビッグナナツーは占拠され、船の機能は完全に停止していた。赤緒はその倉庫の一室で拘束されたまま放置された。

身動きが出来ず、全てを失った悲しみを抱きながら、赤緒の時間はいたずらにただ過ぎていく。



どれだけの時間が過ぎたのか。
赤緒のRスーツは溶かされ、全裸に
近い状態にされていた。
ずっとこのままなのかと諦めかけ
た時、部屋の扉がゆっくりと開いた。
現れたのはシバともう一人。
それは失ったと思っていた小河原両
兵だった。
しかし赤緒はそれが両兵ではないと
直ぐに気づいた。
赤緒の前に現れたのは両兵の身体に
憑依した宿敵ハマドだったのだ。



両兵に憑依したハマドは容赦なく赤緒に襲いかかった。力強くそそり立った肉棒が赤緒の恥部に侵入し、閉ざされた膜を突き破る。突然の激しい痛みと恐怖に赤緒は悲鳴をあげる。しかしハマドは構うことなく腰を動かし、その様子にはシバは笑みを浮かべていた。

一度目の射精が終わった後も
ハマドのモノは少しも萎える
事はなく、休む間もなく再び赤
緒の胎内へと挿入した。
拘束された赤緒に成す術はな
く、ひたすらに繰り返される激
しいピストン運動を受け入れる
しかなかった…





他のアンヘルメンバーの様子を見に行く
と言ってシバは部屋を出た。だが赤緒の
凌辱は終わらなかった。
仲間が同様に辱めを受けている事は容易
に想像が出来た。だが今の赤緒に出来る
事は何もない。
恐怖と屈辱に耐えながら、ただ仲間の無事
を祈る事しか……

もう何回目かもわからない射精が行われた。

ハマドの熱い精液が赤緒の胎内をじっくりと犯していく。

ハマドの熱さがじわじわと広がり、赤緒は大粒の涙を流しながら絶叫する。泣き叫ぶ事しか今の赤緒には出来ない。

妊娠という現実が赤緒の心を支配し、恐怖と絶望が赤緒の心を染めた。





萎える事を知らないハマドのモノが
眼前に迫る。
憔悴した赤緒は何も出来ず、ただそれ
を黙って啜えることしか出来ない。
孕ませるという目的とは関係がない、
ただ己の情欲を満たすためだけの行為。
この憎い女を好きにできる。
その状況にハマドは愉悦し、微かに抵抗
する赤緒の口に何度も腰を打ち付けた。



両兵と愛し合いたい。
それは赤緒が何度も夢見てきた事
だった。
だが今の両兵は宿敵であるハマド
が憑依した姿。
何度も苦しめられ、追い詰められ、
心から憎む相手。
そんな男からの強引な口付けを赤
緒は受け入れる。
口内で蠢くハマドの舌に自分の舌
を絡ませ舐る。
もはやハマドに犯されているのか
両兵に抱かれているのか、今の赤緒
はわからなくなっていた。



柊蒼旗がビッグナナツーに向かっているという報告が入り、行為は中止された。地獄のような時間から一時ではあるが解放された赤緒。しかし赤緒は憔悴しきり、自力で歩くことも出来なかった。そんな赤緒をハマドは抱き上げる。その逞しくそそり立ったモノを誇示したまま。



ビッグナナツーに戻ってきた蒼旗の目に映ったのは、糸纏わぬ姿で晒された赤緒の姿だった。その目にもはや力はなく、義弟が目の前にいるにもかかわらず、赤緒は虚ろな眼差しを向けるだけだった。

シバの目的はまだ完遂されていない。赤緒が妊娠し、強力な血統を産むまで、この時間は終わらない。

あとがき

はじめまして。ヒュースケンと申します！

お手に取っていただきましてありがとうございます。
このような形でイラストを本としてまとめるのは初めての
経験で、色々と不安な中でのスタートでしたが、なんとか形
にして出す事ができました。

正直なところ「もっとこうしたらよかったな」とか諸々反省
点も多くありますが、それは今後に活かすとして、まずは完
成できたことを全力で喜ぼうと思います。

そしてなによりも日々応援してくださっている皆さまに最
上の感謝を申し上げます。
本当にありがとうございました！

今回の赤緒さん本は今のところ続きものとして考えており
まして、機会があればまた描こうと思います。

それでは今後ともヒュースケンをよろしくお願いいたしま
す。またお会いしましょう！！

- 発行 : 風転堂
- 著者 : ヒュースケン
- 印刷所 : ねこのしっぽ
- 発行日 : 2023/12/31

- twitter(X) : @steam_erobou
- 連絡先 : yamato.1945.ts9@gmail.com